

	シンガポール海外イマージョン研修
日時	7月31日(月)7:00~8月5日(土)12:00
場所	シンガポール
参加者	1年生 8名
講師等	三崎恵水産(株)社長 MEGUMI F&S SINGAPORE PTE LTD 職員 JTB シンガポール職員 ALPS LOGISTICS (S) PTE LTD 職員 FUJITSU ASIA PTE LTD 職員 Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.職員 Waseda BioScience Research Institute in Singapore 研究員
目的	複合多民族国家シンガポールに赴き、これからの社会が求めるグローバル人材としての必要な文化的多様性を理解し、一体化するマインドを育み、各自の課題研究に対する質を向上させる。また、海外でのフィールドワークを通じて、海外でのキャリアイメージを拡大させるとともに、現地での課題に対するプレゼンテーションを行うことにより論理的思考力・コミュニケーション力・幅広い教養を育て、次世代ビジネスリーダーとしての素養を身につけさせる。さらに、その成果を発表することで学校全体の課題研究の質を向上させる。
活動の概要	○日系企業を訪問し、ビジネスの世界を知るとともに、ACTの課題設定に生かす。 ○フィールドワークを通して、多文化社会を理解し、自らの日常や将来に生かす。 ○ニューウォーターを訪問し、シンガポールが抱える水問題を理解し、日本との関係を考える。 ○国立博物館を訪問し、第二次世界大戦中の日本との関係を理解し、将来の糧とする。 ○シンガポール動物園を訪問し、来園者(顧客)視点であり、動物視点である環境づくりを学ぶ。
内容	事前学習 ○『物語シンガポールの歴史』(中公新書)を読んでシンガポールと日本の関係などの歴史について学習。 ○『シンガポール謎解き散歩』を読んで、歴史、観光、生活・文化、政治経済など、多角的にシンガポールについて学習。 ○各自課題を設定し、調査ができる場所や方法を考え、フィールドワークのコースを決める。

7月31日（第1日目）

○マーライオン・パーク

歩きながらシンガポールの主要な観光名所を観察。現地ガイドによるマーライオンの変遷、シンガポールの華僑の歴史、シンガポールにまつわる偉人の逸話などの説明。

○ラッフルズ像を見学、シンガポールの発展について、ガイドさんからお話を伺う。



○ラオパサ

シンガポールの中でも大きなフードコートであるラオパサにて夕食。働いている人が使っている言語に注目する生徒や接客の姿勢やフードコートのシステムを日本のものと比較する生徒もいた。



8月1日（第2日目）

○朝食（ホテルビュッフェ）でハラル対応の朝食を体験。

○インド人街散策

ホテル周辺のインド人街を歩きながら観察。サルタンモスクなどシンガポール市内でも大きなモスクを訪問した。



○JTB Singapore 訪問

現地ガイドと合流。MRT（地下鉄）に乗りし、移動。

高須賀 務さん（シンガポール・インバウンド支店団体課マネージャー）による講義を受けた。JTB Singapore のオフィスを見学。日本を飛び出して、世界で働くこととなった経緯とこれまでの経験についての講義。シンガポールを拠点としたアジアでのビジネス展開の説明を受けた。生徒はそれぞれの研究テーマにもとづいた質疑応答を行った。



○まぐろ問屋 三浦三崎港 訪問

2階建てのバスに乗り、移動。

7月24日(月)の事前研修では冷凍室に保存されている鮭の見学とシンガポールに進出した経緯と方略を学習。昼食は店舗で日本から輸出した鮭を全員が食した。渡邊 将基さん(ゼネラル・マネージャー)による、進出後の経営とシンガポールでの実情についての説明を受けた。生徒はそれぞれの研究テーマにもとづいた質疑応答を行った。



○セントアンドリュース教会

市内でも最も大きな教会であるセントアンドリュース教会を訪問。教会内には観光客の他にも、信仰のために訪れている市民もいた。多民族多宗教国家であるシンガポールの一面を垣間見ることができた。



○チャイナタウン

シンガポールの人口の70%以上を占める中華系移民の街を観察した。シンガポール仏牙寺龍華院を中心に訪問した。シンガポールを形成する重要な民族の歴史や文化に触れることができた。



8月2日(第3日目)

○早稲田バイオサイエンスシンガポール研究所 訪問

荒井 敏さんによる講義を受けた。シンガポールという国の概要、シンガポールでの働き方を学習した。研究者としてのキャリアや研究内容、日本の高校生に考えてほしいことなどについて伺った。コンパクトな国家な故、スピーディーに様々な取り組みができることに生徒は注目していた。



○アルプス物流 訪問

須藤 竹志さん(Managing Director)による講義を中心に、物流の現場である倉庫内の見学を行った。現地スタッフの方との交流が多い研修となった。現地シンガポール人スタッフによる英語学習についての講義を行っていただき、現地マレーシア人スタッフが日本の大学で学んだことなどを生徒と共有する機会も得られた。また、倉庫で働く現地スタッフの方と英語でコミュニケーションを図ることができた。アジアでの物流の仕組みを学ぶとともに、「日本の常識≠世界の常識」ではないことに生徒は関心を抱いていた。



○富士通シンガポールデータセンター 訪問

平井 美菜さん（神奈川支社 第一公共営業部）、吉野 賢さん（グローバルビジネス統括部 統括部長）を中心に、プレゼンテーションをしていただき、現地スタッフの Lilian さんに、こちらからあらかじめ送った質問について、回答していただいた。特に、多文化社会の中での子供の頃からの教育や、他者とうまく協働することのキギとなるポイントについて伺った。さらにデータセンターを見学し、富士通のグローバルビジネスの取り組み、データセンターの概要などについて説明を聞き、生徒は自らの研究テーマと重ねながら質疑応答を行った。厳重なセキュリティを体感し、最先端のテクノロジーに触れることができた。



○シンガポール国立大学 NUS (National University of Singapore) 訪問

NUS の学生に生徒それぞれの研究内容に関するインタビューを英語で行った。想像していた答えとは違う返答が返ってきたり、インタビューを断られたりなど、苦労した場面もあったが、NUS の学生と交流しコミュニケーションを通して、生徒それぞれの研究内容をより深めることができた。



○夕食

チョンバル・マーケット&フードセンター（大型生鮮食品店・ホーカー）にて、地元の人々の食事を体験した。



8月3日（第4日目）

○東京海上日動シンガポール 訪問

小林 誠さん（Assistant Manager）、小林 且弥さん（General Manager）に講義をしていただいた。シンガポールに多くの企業が統括本部を置く理由、日系企業の進出状況、シンガポールの損害保険マーケットについて学んだ。講義の後には、現地シンガポール人スタッフの方と英語でのディスカッションを行った。異文化多国籍社会であるシンガポールで、他者を理解しながら生きていくことを大切にしているシンガポール人の姿勢に生徒は感銘を受けていた。



○昼食

マックスウェルフードセンター（大型ホーカー）にて昼食。自ら進んで、現地と人とコミュニケーションをとるために相席を願い出ている積極的な生徒の姿を見ることができた。



○National Library Board（国立図書館）

子ども用の遊び場が充実している施設を中心に見学した。複数の言語が使われているシンガポールには英語、中国語、マレー語など様々な言語で記されている書物に関心を抱く生徒が多かった。



○サルタン・モスク（アラブストリート）

2日目にも訪問したサルタン・モスクを再度訪問し、礼拝堂を見学した。イスラム教の戒律や礼拝の方法などの説明を受けた。



○National Museum（国立博物館）

オーチャード通りに位置する国立博物館を訪問し、主にシンガポールの歴史について学んだ。ラッフルズの上陸、日本の占領期、クー・リアン・ユーによるシンガポールの発展などに生徒は関心を寄せていた。



○プラナカン博物館

マレー系と中華系が交わって形成されたプラナカン文化を展示している博物館を訪問した。独特な文化を持ち、色鮮やかな装飾や家財などを実際に目にすることで、文化の多様性に触れることができた。



○ラッフルズ・シティー

シンガポール市内を走る MRT（地下鉄）のシティー・ホール駅、フードコート、スーパーマーケット、ショッピングセンターが併設されている複合施設で夕食。外食文化が根づいているシンガポールのスーパーマーケットで実際に買い物をするので、日本のスーパーマーケットと比較することができた。



8月4日（第5日目）

○ニューウォーター

再生水がシンガポールで必要とされていることを映像で学習後、どのようにして再生水が作られているのかを、模型展示を見ながら英語ガイドによるツアーで学習。現在は再生水の大部分は工業用水として使われているが、同時に市民の飲料水としても利用されており、ここで作られる再生水やマリーナバラージで作られる海水の淡水化などは、シンガポールでは貴重な水資源であることを学んだ。

○シンガポールシティギャラリー

シンガポールがどのように出来上がってきたのかを、ジオラマや写真を通して学習。

ジオラマで今回訪問した場所や宿泊したホテルを確認し、街の全体像を捉え、また都市計画がどのように進んできたのかを年代別の写真と説明で確認できた。



○昼食 インドカレー体験

インド式カレーとその食べ方を体験、バナナリーフ（バナナの葉）の上にカレーとご飯を載せ、右手で混ぜながら食べた。味と作法のあまりの違いに驚くばかりだった。

○シンガポール動物園リバーサファリ見学

日本の動物園でも広がりつつある「なるべく野生の状態で見せる」だが、ここでは、更にその考え方が進められており、動物との距離があまりにも近いことに戸惑うぐらいだった。説明ボードは英語、中国語、日本語だった。街中では日本語はあまり見かけず、代わりにマレー語が書いてあったので、多くの日本人がシンガポールで訪れる場所も理解できたし、観光客誘致のポイントであることも分かった。



○ムスタファセンター

インド人街にある巨大スーパーマーケット。生鮮食品など日用品から、お土産品まで多種多様な品物が揃っていた。価格は安く、日用品の売り場は多くのインド系市民が買い物をしていた。

○チャンギ国際空港

アジアのハブ空港として世界中から飛行機が集まる場所を見学。トランジットをする人達のためにも様々な施設設備が備わっていた。